

会員数(55・3 現在)

逗子地区 142名

葉山地区 207名

大船地区 61名

合計 410名

# 吟道月報

日本詩吟学院岳風会 認可  
神奈川 碩心会 発行

55・3月

才92号

発行 者

根岸 岳 萃  
編 集  
中 村 愛 岳  
秋 元 梁 風

## 詩 と 私

もう十年も前になりますが、友人の息子さんの結婚式に招かれ、酒がまわる程に嬉しくなり、何か歌いたくなり其の時、祝の席に不似合の歌がとび出し後悔した事がありました。そんな事から何かと考えていた折、中山昇風さんに詩吟をすゝめられ恐る恐る始めたのが私と詩吟の出合いです。

元来私は気短かて運転していても前の車を追越さぬと気がすまぬ有様でしたが詩吟を始めから、例えば道路の渋滞、信号待ちなど何とも感じなくなりました。私は練習から帰ると其の夜の中に詩文を写し、車の前にはりつけ一行ずつ頭に入れる様にしてあるので、

諏訪支部 三 留 岑 山  
す。ある時池上の交差点で次の様な事もありました。大変混んでいたの  
でいつもの様に運転台が割れる位大きな声でどなっていたところ、何事かと思ったのでしよう。若いお巡りさんが寄ってくるではありませんか。其の時幸いに信号が青になりサッと走り出レホッとした事もありました。又こんな失敗もありました。いつも調子でハンドルを握りながらどなっていてあと一行という所で後ぞうるさい位にクラクションが鳴りました。が大して気にもせずいたが余りにもうるさいので後の車を見ようとしたり、ところ自分の車にギヤーを入れ忘れサードに入っているではありませんか。あわててトッパに入れ後も見ず

に夢中で走りました。運転台に手本を置く時は前を見る事を忘れたら大変な事になります。注意注意。

最初は無我夢中でしたが最近耳だけがこえ声がつづかず自信がなくなり何度か止めようと思う様になりました。が去年ふとした事がきっかけで煙草を止め、一時は馬鹿のようでした。心が機一転今一度と思ひ直して頑張っています。煙草をやめてそろそろ一年になりました。すが声の出も大分楽になったような気がする。今日この頃です。終りなき吟の旅；諸先生今後ともよろしくお願いいたします。

ぎんどうライソップ



鶴の吟道会では今年から新しく指導に当る指導者達を一堂に集め講習会を開きました。発声法、吟調の事、味わい方、教場運営のあり方等々勉強しました。最後に長老師範が皆に話しかける様にいたしました。「よいか、な、学問をするのには、まず慢心を捨てなければ

いけない、そしてへり下り更に時の流れを敏感にとらえる事、そうすれば自然に上達するものじゃよ。そして誠を以て実行してゆけば道はおのずからと変わり開けてくるもんじゃ。昔から「教えるは学ぶの半ばなり」と云ってな、他の者に教えると言ふ事は自分が教えられると云ふ事なんじゃ。他に教える事によつて、色々とむずかしい所が分ってくる。だから益々一生懸命に励もうとする様になる。こうしていつも終始を忘れずに学問に励めば自分が知らないうちに、つまり自覚しないうちに徳が身について他から尊敬される様になる。皆も尊敬される様な立派な指導者になって貰いたい。そして先賢、先哲の残された詩や文によつてその心を知り、先輩が築きあげた吟道の伝統を守り、創意工夫をして事に当ればまず道を誤る事はないだろう。と云々さしく教え励まして新しい指導者へのはなむけの言葉としました。(珍竹林) (註) この記事は雑誌吟道より転載させていたたきました。

◎ 昇袈・昇伝

次の七名の方が一月二十日付を以て、左記の通り昇袈、昇伝いたしました。

九袈……沼田光岳・下條亮岳

皆伝……中村幸岳・竹石憲岳・千葉劔岳

千葉香岳・中村愛岳

◎ 師範・準師範認許

次の方々が師範、準師範を認許され、指導を担当されています。

師範……秋元深風

準師範……佐藤湧風・村田静風・渡辺梁風

耳と感と点と 秋元深風

過日行われたる指導者吟道大会予選会で感じた事の一端を、次に参加される方々の参考になればと筆を執ります。中伝以上という事で、少くとも吟歴五年以上の入道が出席し観ただけに、一番から百九十九番まで聞きごたえのある競吟会でした。勿論マイクは使用しません。会場の隅まで響く声とハラ事になると相当な高音でなくてはならぬ訳です。

私達が聞いても「うまい」と感じた吟は、やはり審査の先生方も高い点をつけられて居た。

耳から入れて、感じとり、その感情のおもむくままが点数になってメモされ集計される。云える事は張りがあり深みの声とその「のび」正しい節調と、語句の読みのアクセント、詩情に伴うイントネーション、こうしたものがどこかかけて居たら入選の線内には足を踏み入れる事は出来ないと思う。

上位十名が入選で、その中には五名の中伝位の人が入選した。勉強の成果であると云いたい。こうした事に意欲を盛り上げ、それに取組んで充分勉強した上で参加するという心掛けが必要になれると思います。

それには、平常の稽古が大切で、一夜漬けのメッキはいざとなると地金が出るといふ事を頭の中に入れておきたいものです。以上



プロフィール(一色C) 岩見声山さん

白い杖で足もとをさぐりながら歩いてい  
 ！岩見さんの教場通いの姿である。一般的に  
 云えばコタツでゆっくりしているであろう82  
 文の老人である。が岩見さんは違う。天候に  
 かかわらず熱心にけいこに通う姿に頭が下る  
 目が悪いので教本は通用しない。サインペン  
 で<sup>2m</sup>四方位の字でノートに書き写して勉強レ  
 ている。いくら大きい字でも細い字は見えな  
 いとが

かって吟が思う様に出来なかつた頃、その  
 時の査定を遠慮された事もあるが大段の査定  
 の折は長考の末「ではやりませう。最低30回々  
 らないと覚えられないそうだから；エ、頑張  
 りますよ」と。あゝ明治女性のこのフアイト、  
 昨年県二十五周年記念大会に高令者表彰を  
 受けられた。年令を感じさせぬあの声量。時  
 々娘さんと共に旅行など楽しまれる老いて益々  
 元気な岩見さん、いつまでも頑心会の最長年  
 者として頑張つて下さい。  
 (宗風)

(訂正)

吟道月報2月号会員現在数葉山地区 209 を 210 に  
 大船地区 59 を 60 に、合計 411 に訂正

(移籍)

一色A支部の黒崎李風、伊藤峰風、行谷佳山  
 伊藤朗山の四名は一色C支部へ移籍

(入会)

鈴木佐登子 葉山町堀内三三八  
 (電) 〇四六八―七五―一〇九六

(二色C支部) 松崎 艶子 葉山町一色一四七九  
 (電) 〇四六八―七五―二五八四

(沼間支部) 泉 尚孝 逗子市沼間三九五  
 (電) 〇四六八―七三―一六〇四三

(大船A支部) 酒井 幸 鎌倉市曾元五條原庄9号  
 (電) 〇四六七―一四六―一六二五九

(大船B支部) 向笠 真琴 横浜市戸塚区中田町三三四  
 (電) 〇四五―八〇四―一三三八七

(退会) 浦谷蒼岳(死) 74 佐藤竹山 380 石原きみ 小島文夫

深井勝二 佐藤勝代